どうする?

どうなる?

第1回

公共施設の海峡のあり方を考える市民対話

<™池。三川地区>



◆対話の進めかた

第1回 6月23日(土)

●施設の現状や 見直しの必要性 について知る



第2回 7月21日(土)

●市が考える施設の 配置の考え方に 対して、意見や 提案を行う



第3回 8月25日(土)

●第2回までの対話を踏まえて市が検討した結果に対する意見交換●対話のまとめ

| 地区に住んでいるからこそ | 知っている課題や実態 | などの意見



長崎市

地区別計画の策定

本日の流れ

- 開会挨拶
- 職員及びスタッフの紹介(5分)
- ・ 時代の変化に対応できる公共施設の見直し(10分)
- 見直し手法の説明と西浦上・三川地区の施設について(15分)
- グループワーク(40分)・・見直した方がよい施設を考えてみよう
- グループの発表と第1回まとめ(45分)

今回、一緒に考えたいこと

時代の変化に対応できる

公共施設の見直し



ところで、

公共施設

行政サービス

って、どんなもの?



長崎市が設置・運営している

公共施設には、

- ●図書館 ●市営住宅
- ●ふれあいセンター
- ●公民館 ●体育館
- ●老人憩の家

- ●学校
- ●庁舎

●消防署

など、いろんな施設があります。







図書館

学校

消防署

行政サービスとは、

公共施設を使って提供している、

みなさんの暮らしに必要なサービスのことで、

- ●戸籍などの手続き ●福祉 ●教育
- ●子育て支援 ●ごみ処理

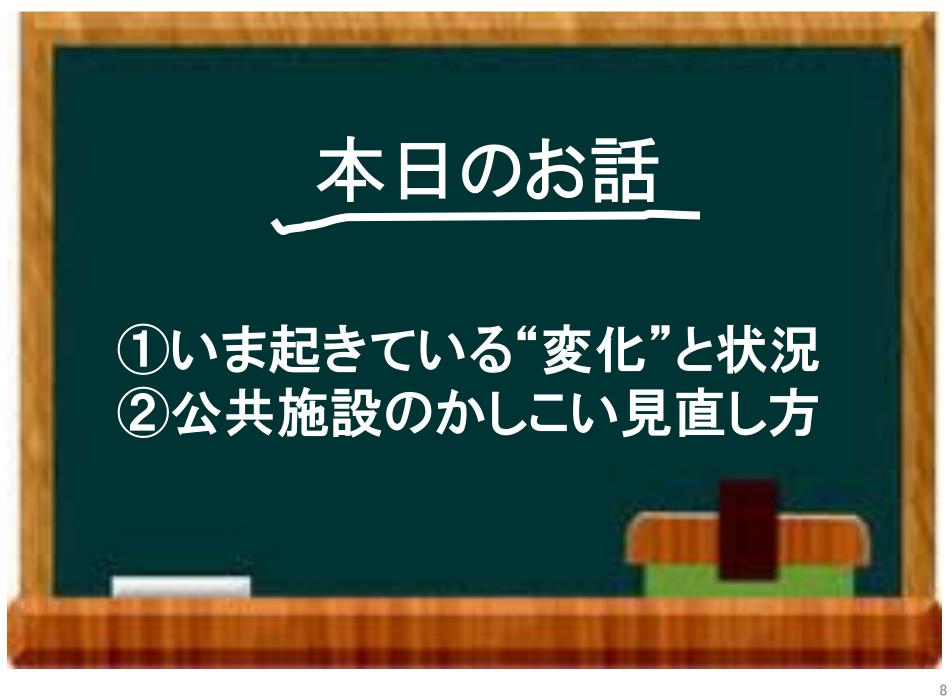
- ●市営住宅やホールなどの管理・運営

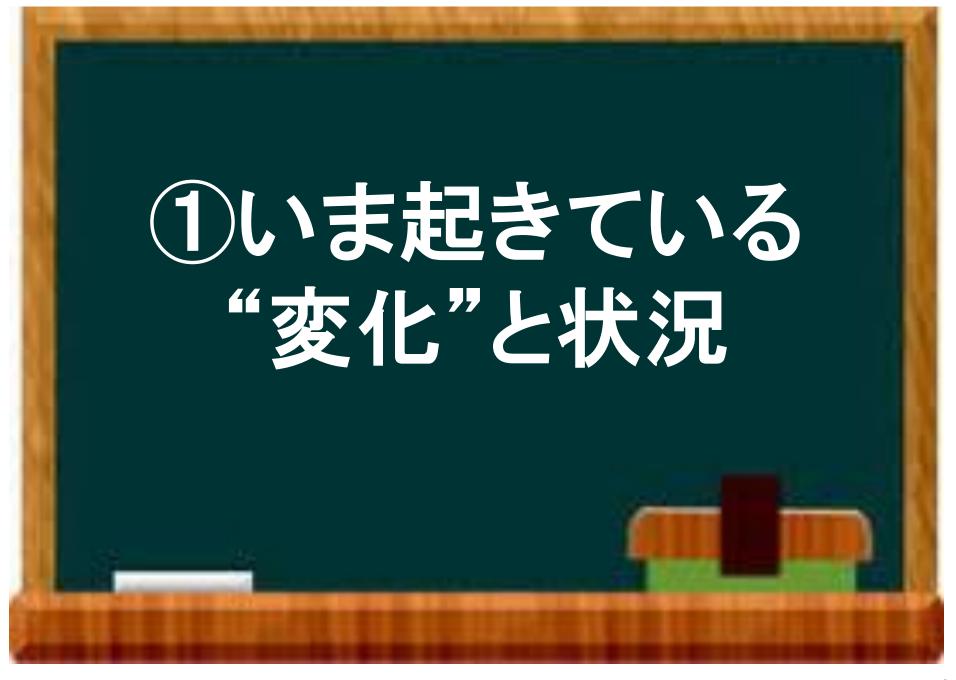
などをいいます。













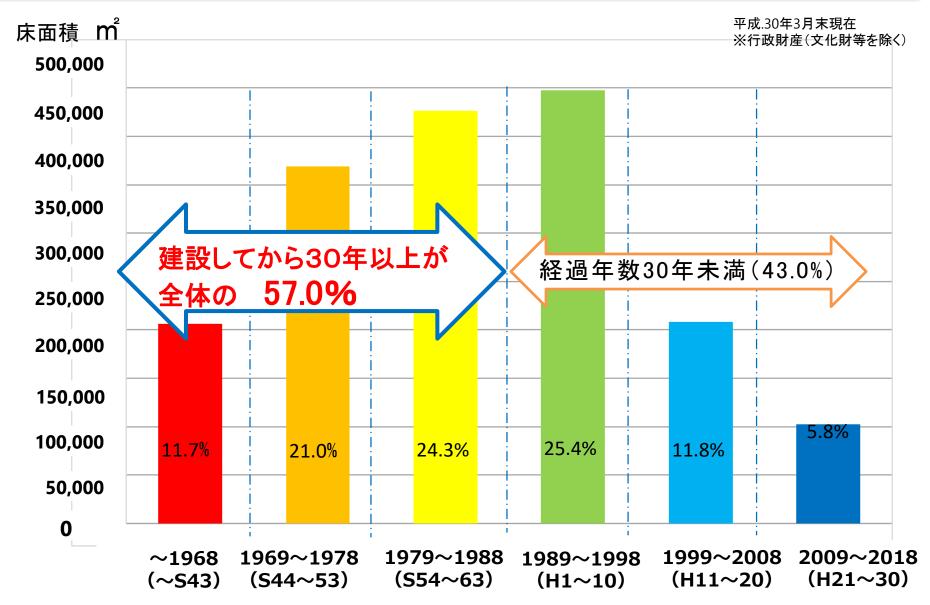
1 公共施設が古くなっている

2 人口減少・少子高齢化が進んでいる

3 人口減少なのに、施設が多いまま

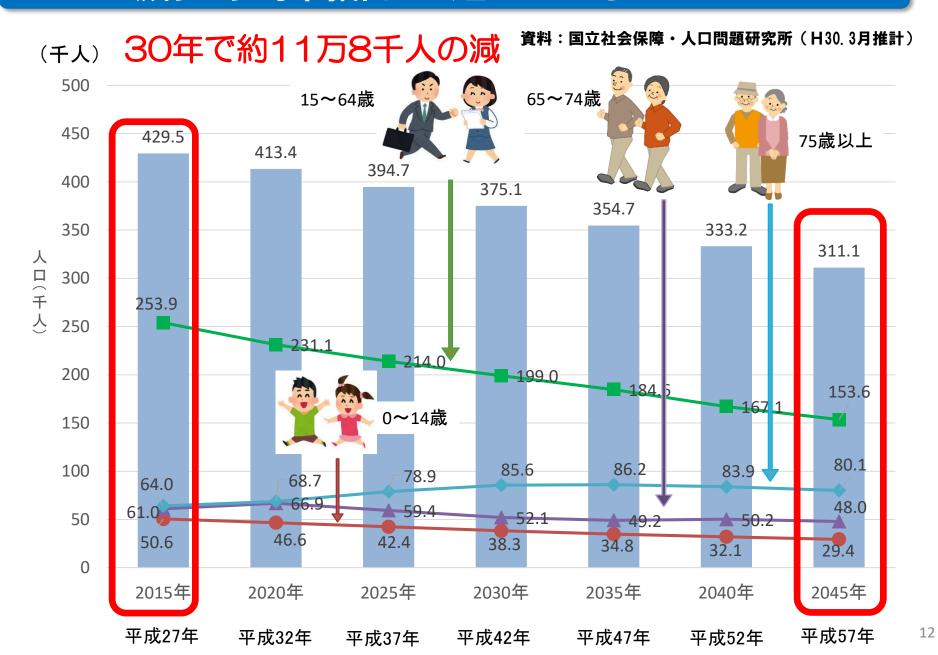


1.公共施設が古くなっている <年度ごとの公共施設の建設量>

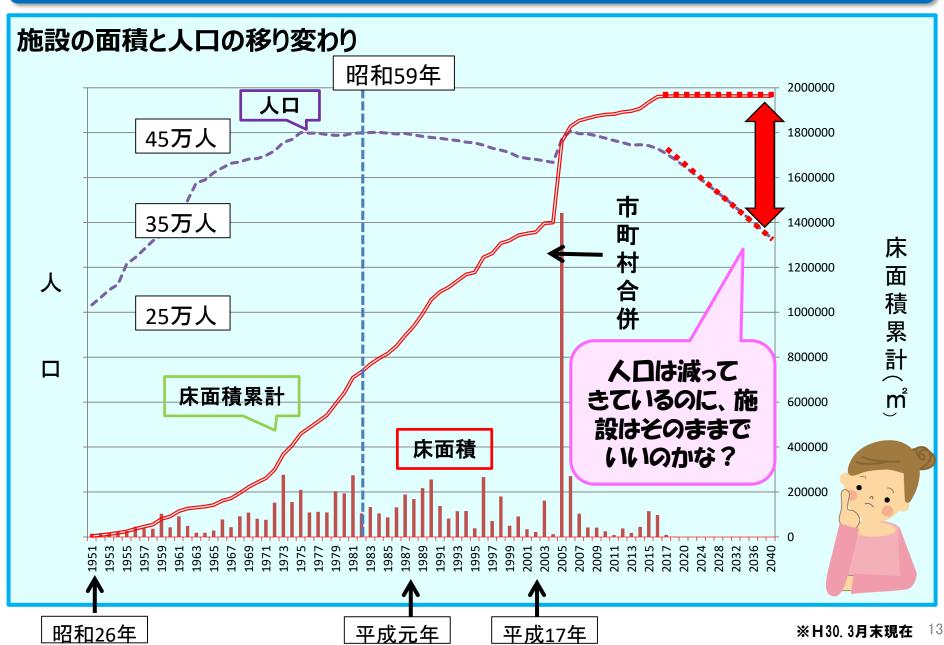


建築年 11

2. 人口減少・少子高齢化が進んでいる



3. 人口減少なのに、施設が多いまま



人口減少



公共施設の 利用者の減少

なのに

公共施設の 量の増大

少子高龄化



医療・介護など福祉にあてる予算の増大

なのに

古くなった公共施設の修理に費用がかかる



どうしたらいいのだろう?



「人口が減ったり、 高齢化が進んでも、 暮らしやすいまち」



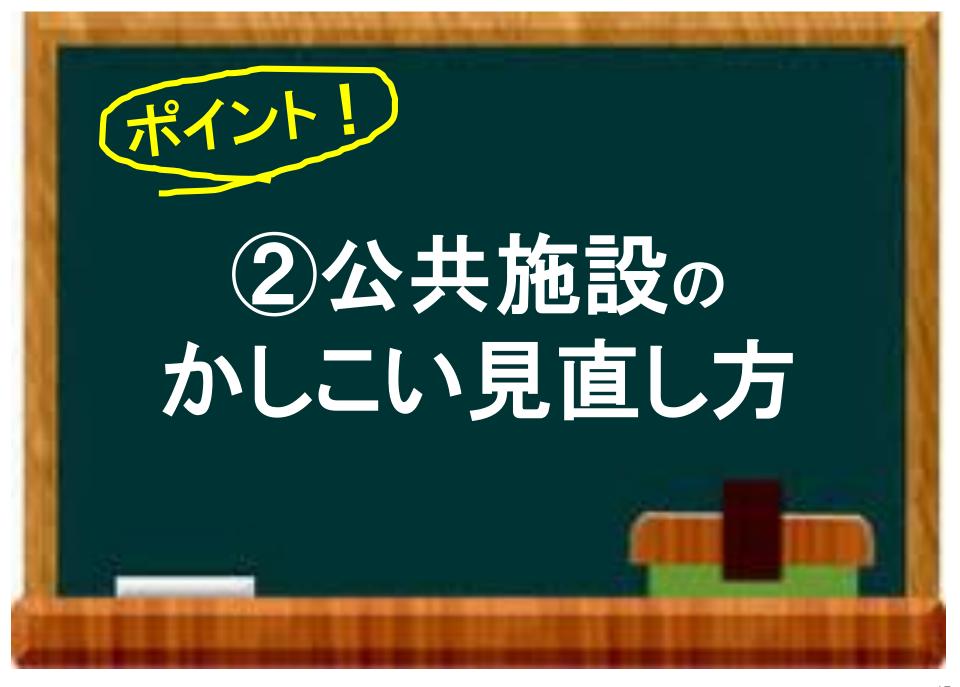


「今、できること」に取り組むことが大切

将来に備えるために、

公共施設の使い方を

見直しましょう!



取組事例①

~長崎市外海地区~



移転



旧出津地区公民館

新 公民館(旧子ども博物館)

- 築43年
- 耐震性なし

- 築34年
- 耐震性あり
- * 現在、H30年9月移転オープンを目指して改修中

取組事例②

~長崎市立小榊小学校~

新西工場 (ごみ焼却場)



余熱利用

新しい学校に プールはありません



市民のみなさん



神の島プール (温水プール)

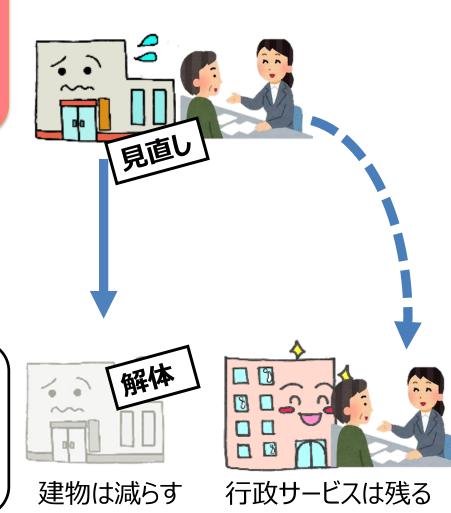


建て替え後の 小榊小学校

市民のみなさんと小学校の子どもたちが一緒に使います!

施設を見直すこと

行政サービスを なくすこと



見直す時に大切にしていることは…



見直す時に大切にしていること

次のような視点で見直しを考えます







使っていない 部屋はないか



バリアフリーに対応しているか

同じような 使われかたを している建物が ないか



修理などに 費用が掛かりす ぎていないか

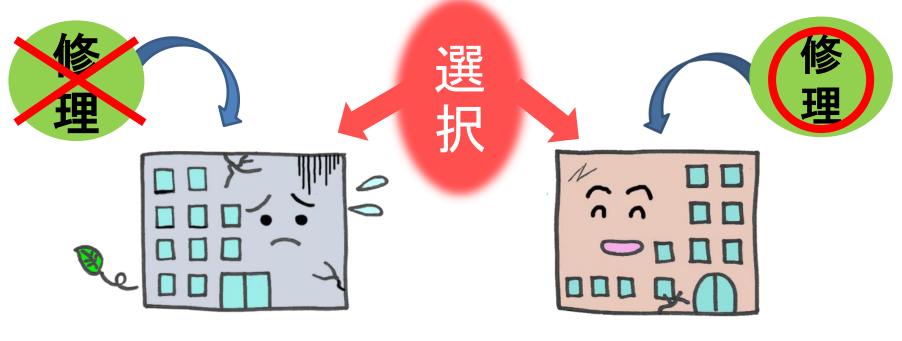


大きく

3つの手法があります



施設を選んで、使い続ける施設はしつかり管理!



廃止予定の施設

使い続ける施設



廃止予定なのに 修理をするのは、 もったいないものね! 安全で安心して 利用できる施設管理 に努めます

ゆずりあいと 工夫

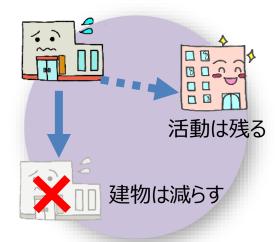


●いっしょに使う●



●時間をやりくり●





●建物が少なくなる●



●活動は減らない●



●交流が活発に●

新たな財源を確保する

◇使っていない土地や建物を売ったり、貸したりする。

使っていない土地や建物の売却・貸付





使っていない土地や建物を有効活用します!

新たな財源を確保する

◇民間企業との連携・協力を積極的に行う。







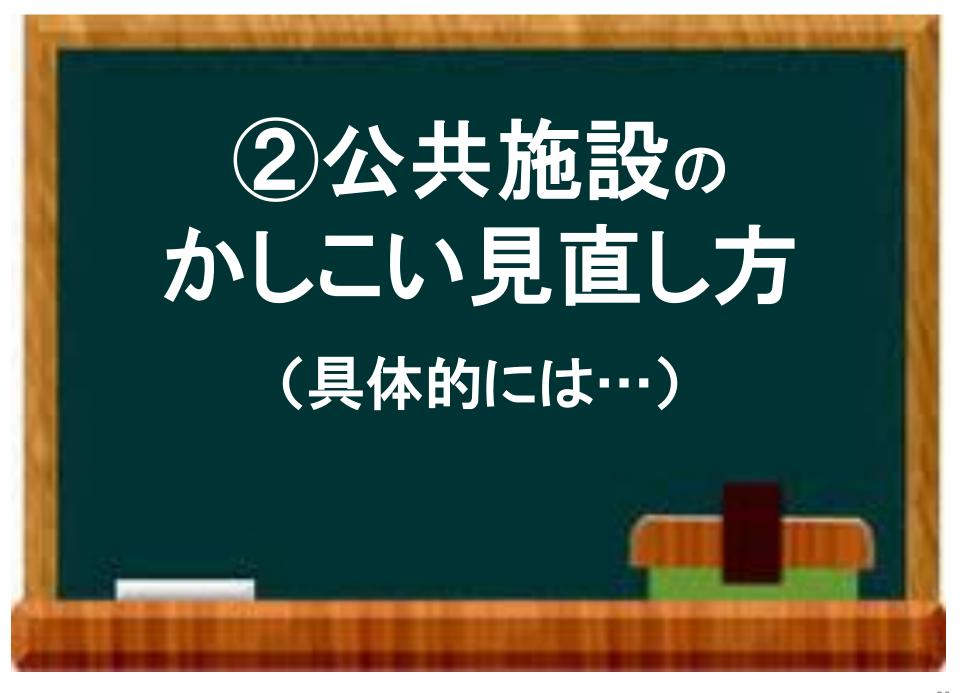


知恵や工夫を出し合って、行政サービス の充実につなげます!

限られた財源を



上手につかいます



(1)主な施設利用者や

施設の特性を考えて見直します

2地区ごとに見直します



① 主な施設利用者や施設の特性を考えて配置

市域全体

- 市役所本庁
- 図書館
- ブリックホールなど

複数地区

市民センターなど



地区

- 小中学校
- ・ 地域センター
- ふれあいセンターなど
- * 地区により、民間サービスが及んでいない範囲をカバーするために 特定の地区に配置する施設もあります(診療所など)

②地区ごとに見直します



地域にはそれぞれ特徴があるため、 地域の実情、くらしの視点で公共施設の 見直しを行います



- ◇地形・交通網から範囲を検討
- ◇人口規模の状況などを考慮

市内を17地区に設定



地域の住民のみなさんと

一緒に考えることで、

より良い見直しにつながります。



地区に住んでいるからこそ いるからこそ 暮らしが楽しく なるような アイデア



地区の 将来像

対話で出たご意見などを参考にさせていただき、 地区別計画をとりまとめていきます。

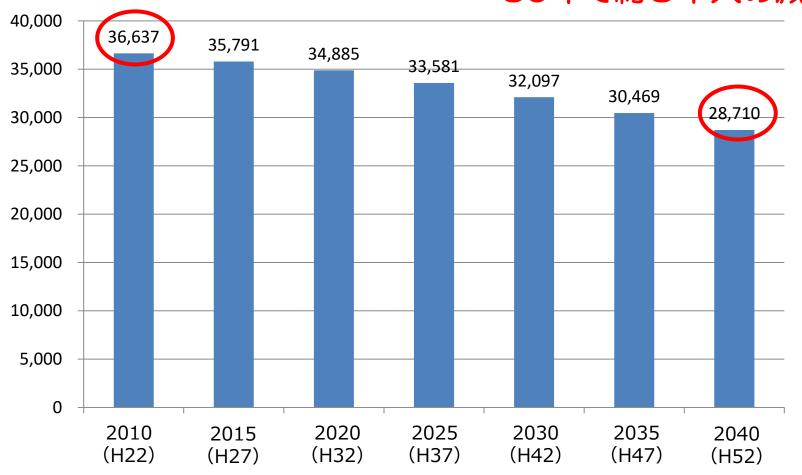
西浦上・三川地区の昔と今

1 西浦上・三川地区の将来推計人口

人口は30年で5分の4に

【西浦上·三川地区】

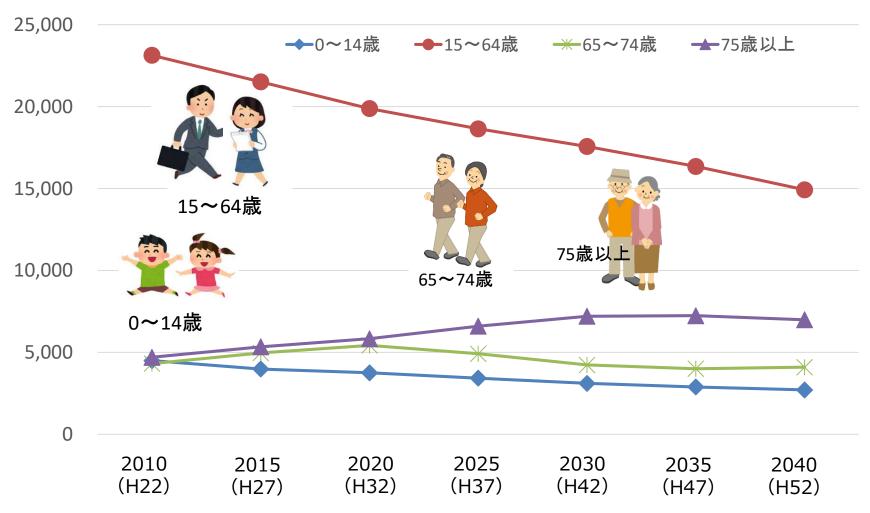
30年で約8千人の減



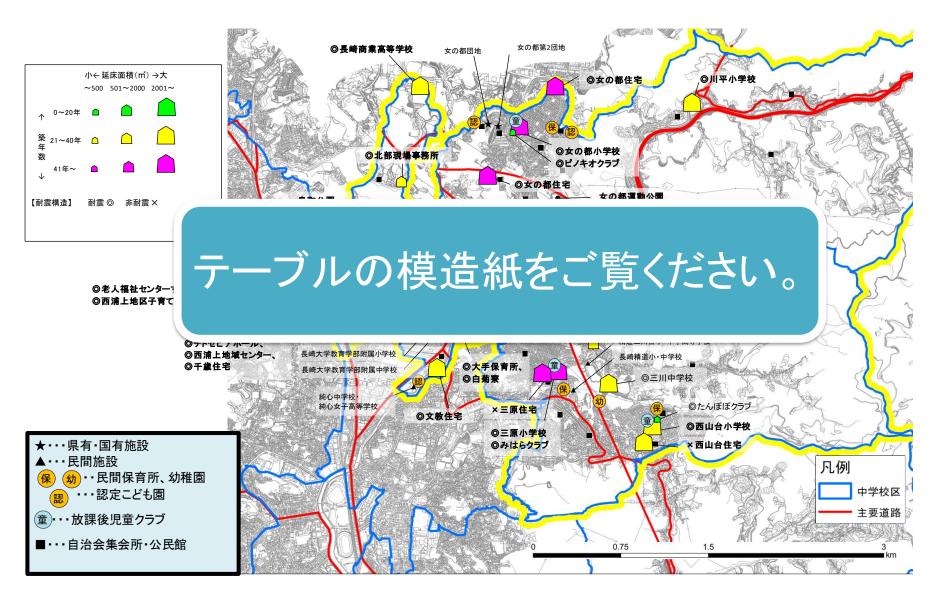
1 西浦上・三川地区の将来推計人口

高齢者の割合は増え、働く世代の割合は減少

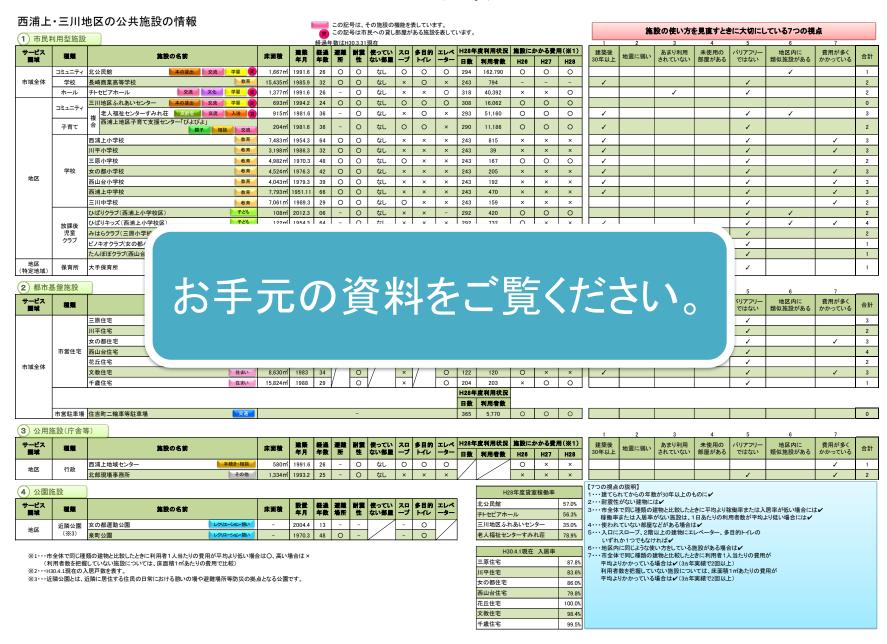
【西浦上·三川地区】



2 西浦上・三川地区の公共施設



3 西浦上・三川地区の公共施設



西浦上・三川地区の公共施設

チトセピアホール



築年数

築26年

利用者数

40,392人/年間

コミュニティ施設



北公民館



三川地区ふれあいセンター



老人福祉センター すみれ荘

『コミュニティ活動施設』について

コミュニティ活動とは?



地域の皆さんが気軽に集まり、身近に行う様々な活動を「コミュニティ活動」と呼んでいます。

『コミュニティ活動施設』について

コミュニティ活動に使える施設



利用対象 18歳未満

児童館(遊戯室)



利用対象制限なし

ふれあいセンター(研修室)



利用対象 60歳以上

使い方は どれも

地域の身近な活動の場



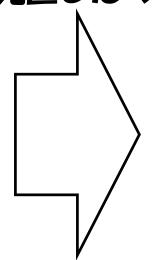


『コミュニティ活動施設』について

使い方を見直す効果

















多世代交流ができる

集まりに使える



地域活動の 場が増える

北公民館



築年数

築26年

利用者数

162,790人/年間

三川地区ふれあいセンター



築年数

築24年

利用者数

16,062人/年間

老人福祉センター すみれ荘



築年数

築36年

利用者数

51,160人/年間

西浦上地区子育て支援センター「ぴよぴよ」



築年数

築36年

利用者数

11,186人/年間

小学校



築年数

築64年

児童数

815人



築年数

築32年

児童数 39人



築年数

築42年

児童数

205人



築年数

築48年

児童数

167人



築年数

築39年

児童数

192人

中学校



三川中学校

築年数

築66年 生徒数

470人

築年数

築29年 生徒数

159人

放課後児童クラス

築年数/年間利用者数



ひばりクラブ(西浦上小) 築6年/420人



ひばりキッズ(西浦上小) 築64年/732人



みはらクラブ(三原小) 築48年/780人



ピノキオクラブ(女の都小) 築5年/432人



たんぽぽクラブ(西山台小)

築8年/804人

大手保育所



築年数

築25年

利用者数

延1,076人/年間

市営住宅

築年数/入居戸数



三原住宅 49年/79戸



川平住宅

47年/184戸



女の都住宅

45年/172戸



西山台住宅

39年/67戸



花丘住宅

36年/40戸



文教住宅

34年/120戸



千歳住宅

29年/203戸

住吉町二輪車等駐車場



利用者数

5,770台/年間

西浦上地域センター



築年数

築26年

北部現場事務所



築年数

築25年

近隣公園



女の都運動公園

経過年数

13年



泉町公園

経過年数

48年



施設を造ってきた、 施設を使ってきた、 わたしたちが"今" 見直すことが大切



みなさん一緒に 暮らしやすい まちづくりを進めて いきましょう